

受領No.1469

最先端研究基盤施設においてイノベーション・エコシステムを担う新しい研究コラボレーション

代表研究者 小野田 敬 東京工業大学 生命理工学院 特別研究員

Research Collaborations of State-of-the-art Research Infrastructures in Innovation Ecosystem

Representative Takashi Onoda, Tokyo Institute of Technology, School of Life Science and Technology, Special Research Fellow



研究概要

イノベーションの起点となるハブとしての機能を果たすべく、1個人や1研究室では設置や維持管理が困難な最先端研究基盤施設を、産学を問わない外部ユーザーに対して広く開放する「外部共用」が、欧米を始めとする海外諸国や日本において導入が進んでいる。

本課題では、研究基盤施設に所属し外部共用に従事するリサーチャーや技師等に対するエスノグラフィ調査を行い、彼/彼女の外部共用に対する「認識的文化」を明らかにすることを通じて、研究活動とサービス活動の両立を目指すこれまで見られなかった新しい研究コラボレーションについて分析する。

調査対象として、日本において他機関に先んじて外部共用を推進するNMR(核磁気共鳴装置)施設や放射光施設をはじめとする最先端研究基盤施設に焦点を当てる。特に、COVID-19感染症への対応で科学技術システムにおいても大変革が起こりつつある中、研究コラボレーションを推進するものとして新たに注目される測定の自動化や測定データのクラウド化などはじめとする技術開発に注目し分析を行う。